



Sharing Energy with the World

Energy supports everyday life and society.
Providing energy when and where it's needed,
Is our greatest responsibility.

2014年3月期

第2四半期決算説明資料

CONTENTS

- (P2) 環境認識
- (P3) 連結損益計算書
- (P4) 連結貸借対照表
- (P5) 連結キャッシュ・フロー計算書
- (P6) セグメント別情報
- (P7) 連結販売数量
- (P8～23) 2013年度上期トピックスと今後の取組み

環境認識

		2012年 3月末時点	2013年 3月末時点	2013年 9月末時点	3月末差
DUBAI原油	\$/BBL	120.41 (3/30時点)	107.09 (3/30時点)	108.28 (9/30時点)	+1.19
通関CIF原油	円/KL	61,896 (3月平均)	68,403 (3月平均)	68,930 (9月平均)	+527
CP (プロパン)	\$/トン	1,230 (3月分)	895 (3月分)	850 (9月分)	△ 45
WS (ワールドスケール)	-	121 (3月平均)	178 (3月平均)	120 (9月平均)	△58
為替 (TTS)	円/\$	83.19 (3/31時点)	95.05 (3/31時点)	98.75 (9/30時点)	+3.70
エネクス株価	円/株	489 (3/31時点)	555 (3/31時点)	510 (9/30時点)	△ 45

連結損益計算書

(単位: 億円)

	2012年度	2013年度			2013年度
	上期実績	上期実績	計画進捗率	前年同期比	通期計画
売上高	6,550	6,912	45%	5.5%	15,500
営業利益	45	48	36%	8.3%	136
経常利益	46	51	39%	11.1%	131
当期純利益	16	29	51%	82.8%	58
※投資額 = 有形・無形固定資産の取得 + 投資有価証券					
投資額	128	98	43%	△23.7%	230
減価償却額	29	43	68%	48.3%	62

POINT

熱供給事業、電熱供給事業の好調、家庭向けLPガス販売事業の収益貢献、
アスファルト販売拡大による収益拡大

※売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は上期過去最高実績

連結貸借対照表

(単位: 億円)

	2012年9月末	2013年3月末	2013年9月末	増減額
流動資産	1,666	1,931	1,721	△ 210
固定資産	1,252	1,307	1,332	25
流動負債	1,363	1,622	1,386	△ 237
固定負債	538	550	572	22
純資産	1,016	1,065	1,095	30
総資産	2,918	3,237	3,053	△ 185
借入金・社債残高		408	368	△ 40

POINT

- 【流動資産】 売上債権の減少
- 【流動負債】 仕入債務の減少 及び 社債償還による減少
- 【純資産】 当期利益の積上、少数株主持分増加、配当金支払い

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 億円)

	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	増減額
営業活動CF	174	115	△ 58
投資活動CF	▲ 191	▲ 67	124
財務活動CF	76	▲ 61	△ 137
フリーCF	▲ 17	48	66

POINT

【営業活動CF】 売買所要資金の増加

【投資活動CF】 イングエナジー株式取得、防府エネルギーサービス発電設備投資など

【財務活動CF】 社債償還、配当金支払

セグメント別情報

※新セグメントに組替え
後の数値

(単位:億円)

		2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	前年比
エネルギー・トレード事業本部	売上高	3,391	3,361	△0.9%
	営業利益	6	5	△6.6%
カーライフ事業本部	売上高	2,586	2,849	10.2%
	営業利益	12	9	△24.9%
トータルホームライフ事業本部	売上高	457	518	13.2%
	営業利益	9	13	42.1%
電力・ユーティリティ事業本部	売上高	113	179	58.2%
	営業利益	16	21	32.5%
その他 (調整額等)	売上高	3	4	34.0%
	営業利益	2	0	△91.2%
全社【計】	売上高	6,550	6,912	5.5%
	営業利益	45	48	8.4%

連結販売数量（主要6品目）

（単位：千kl、千t）

	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	前年比
ガソリン（千kl）	2,250	2,035	△9.5%
灯油（千kl）	488	442	△9.3%
軽油（千kl）	1,626	1,666	2.5%
重油（千kl）	2,259	2,126	△5.9%
燃料油【計】（千kl）	6,622	6,270	△5.3%
アスファルト（千t）	138	197	42.2%
LPガス（千t）	283	283	△0.1%

POINT

【ガソリン・軽油】ET事業本部にて原油高騰や国内市況低迷による販売量減少
CL事業本部にて系列向け販売数量の増販達成

【アスファルト】自社保有タンクや運搬船の定期傭船などの流通機能拡充による増販

2013年度 セグメント別 上期トピックスと今後の取組み

エネルギートレード事業本部

2013年度 上期トピックス報告 (エネルギー・トレード事業本部)

Great Crane(グレートクレーン)号 竣工

- ・ 2013年5月 袖ヶ浦アスファルト基地に、2隻目となる自社AS運搬船 Great Crane号が初入港 (アスファルト積載量1,000ト)



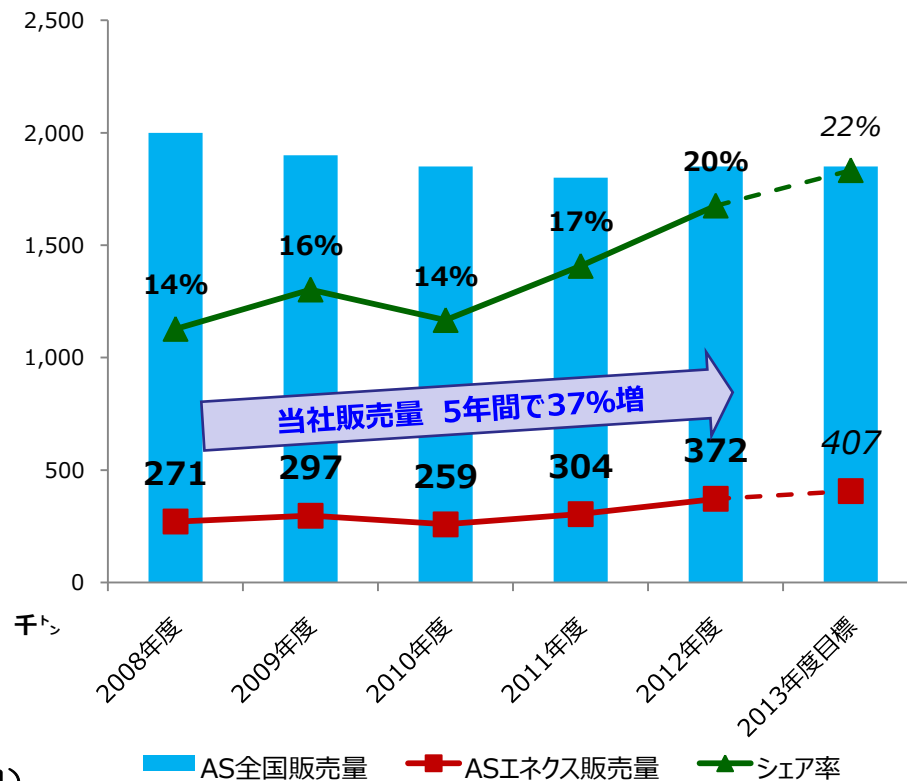
<アスファルト基地/全国11カ所>
総容量3万8,300トン

【国内最大】袖ヶ浦アスファルト基地



10,000トン
(竣工 2012年10月)

アスファルト販売数量の推移

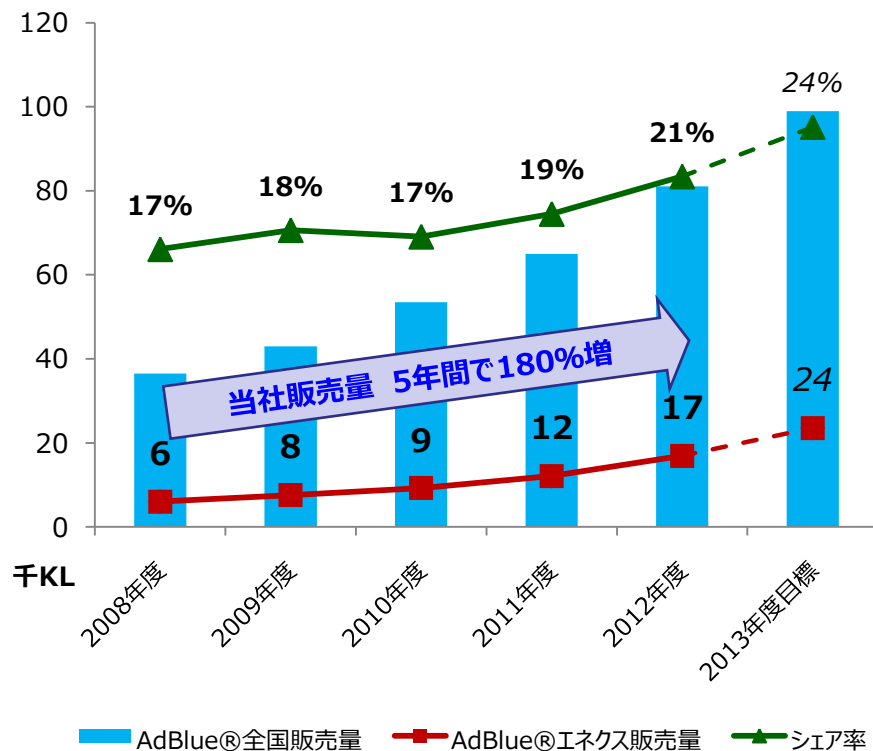


2013年度 上期トピックス報告 (エネルギートレード事業本部)

AdBlue® (アドブルー) 販売の推進

AdBlue®販売において業界4位から3位へと成長 (2012年度国内シェア21%)
引続き配送基地を充実させ、更に上位を目指す

AdBlue®販売数量実績推移



AdBlue®を国内外から調達。全国17箇所の供給拠点からフリート事業者・トラックメーカー・販売・運送事業者へ販売。



2013年度 将来への取組み（エネルギー・トレード事業本部）

目指す姿：物流に強いエネルギー流通事業本部

環境認識

各市場におけるプレーヤーの減少
環境対応商品の伸長とクロスボーダー物流の変化

強み

物流機能、全国販売網、需給調整機能、
幅広い業種の顧客企業との取引関係、情報ネットワーク

事業戦略の基本的な考え方

国内外取引先とのアライアンスを主軸に

- ① 物流・需給調整機能強化
- ② ニッチトップ分野強化
- ③ 周辺分野への進出

カーライフ事業本部

2013年度 上期トピックス報告 (カーライフ事業本部)

ENEX ACT プログラム

全国328CSがエントリー。「収益増強コース」「自社工場保有店コース」を設け、各CSにおける収益向上を目指した取組み。



研修会場

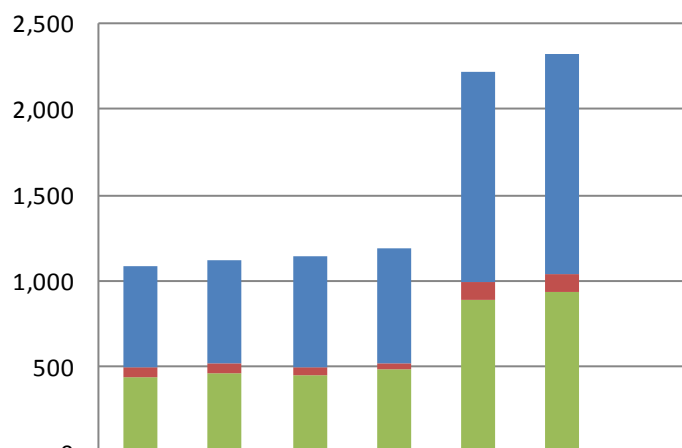


2013年度 上期トピックス報告 (カーライフ事業本部)

2013年上期 販売数量の増販達成

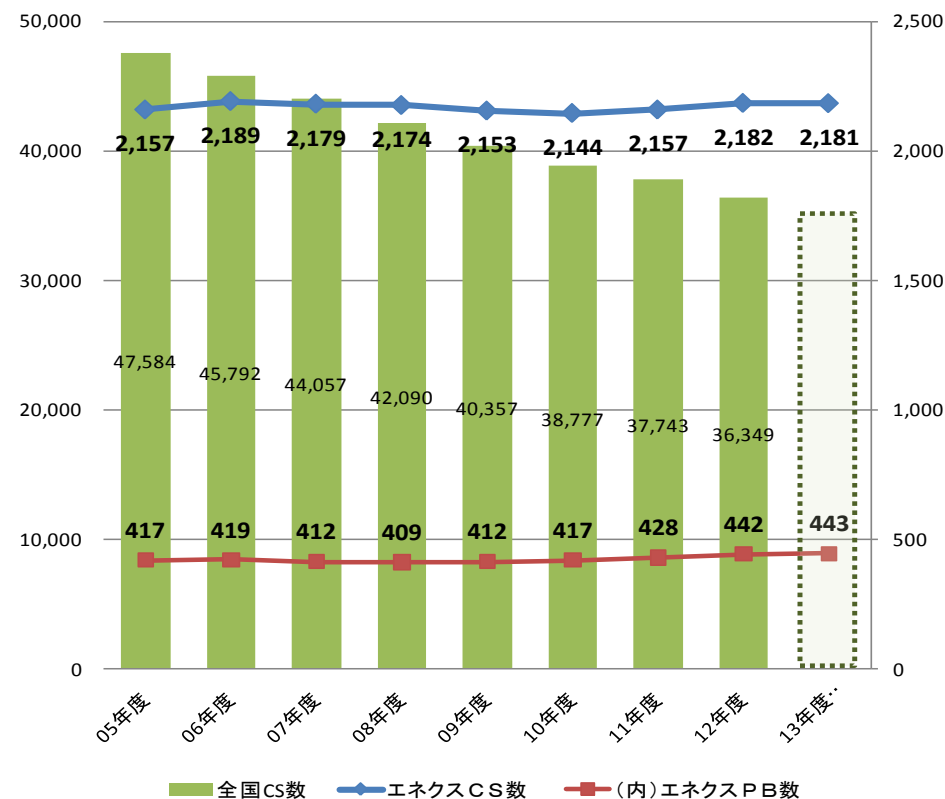
前期末及び当期の大型新規系列化などにより販売数量は前年同期を上回る
(中部：7CS、中四国：9CS、関西：14CS)

千KL カーライフ事業部 販売数量実績



■ カーライフ(GA計)	584	602	649	674	1,232	1,275	104%
■ カーライフ(WK)	63	67	39	36	102	103	100%
■ カーライフ(GO)	434	456	454	483	888	939	106%

販売拠点数実績



2013年度 将来への取組み (カーライフ事業本部)

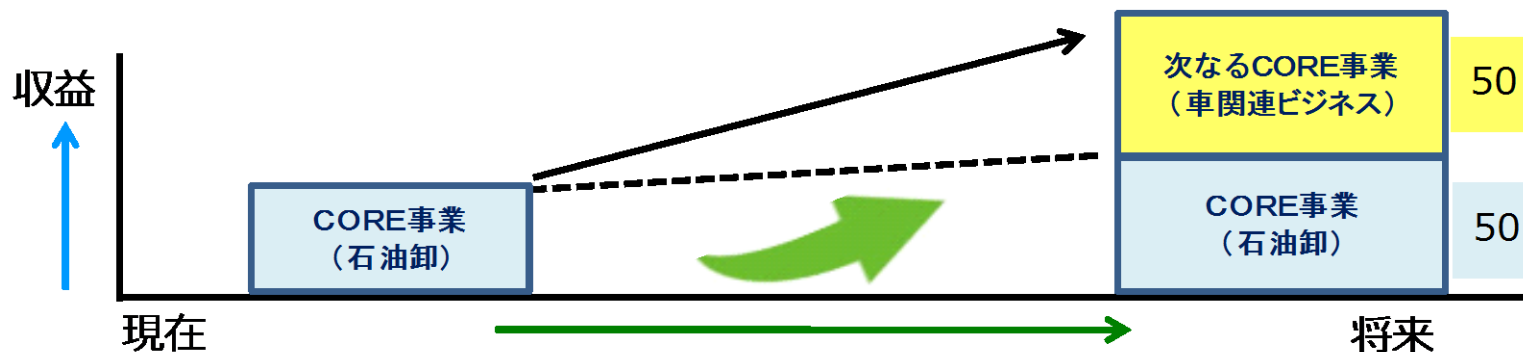
収益構造の改革 ～石油収益50：車関連収益50へ～

石油

- ・石油卸売 (BtoB[®]ビジネス) の維持拡大
- ・エリア戦略の推進 (卸・小売一体)
- ・元売会社と関係強化

進化

- ・コンサル機能の強化～人材教育
- ・集客・固定化策の実行 (POSカード等)
- ・儲かる販社CS拠点の拡大



車関連

機能から

- ・車関連事業は、CS経営改善の一つ
- ・競合他社の参入、更なる差別化が必要

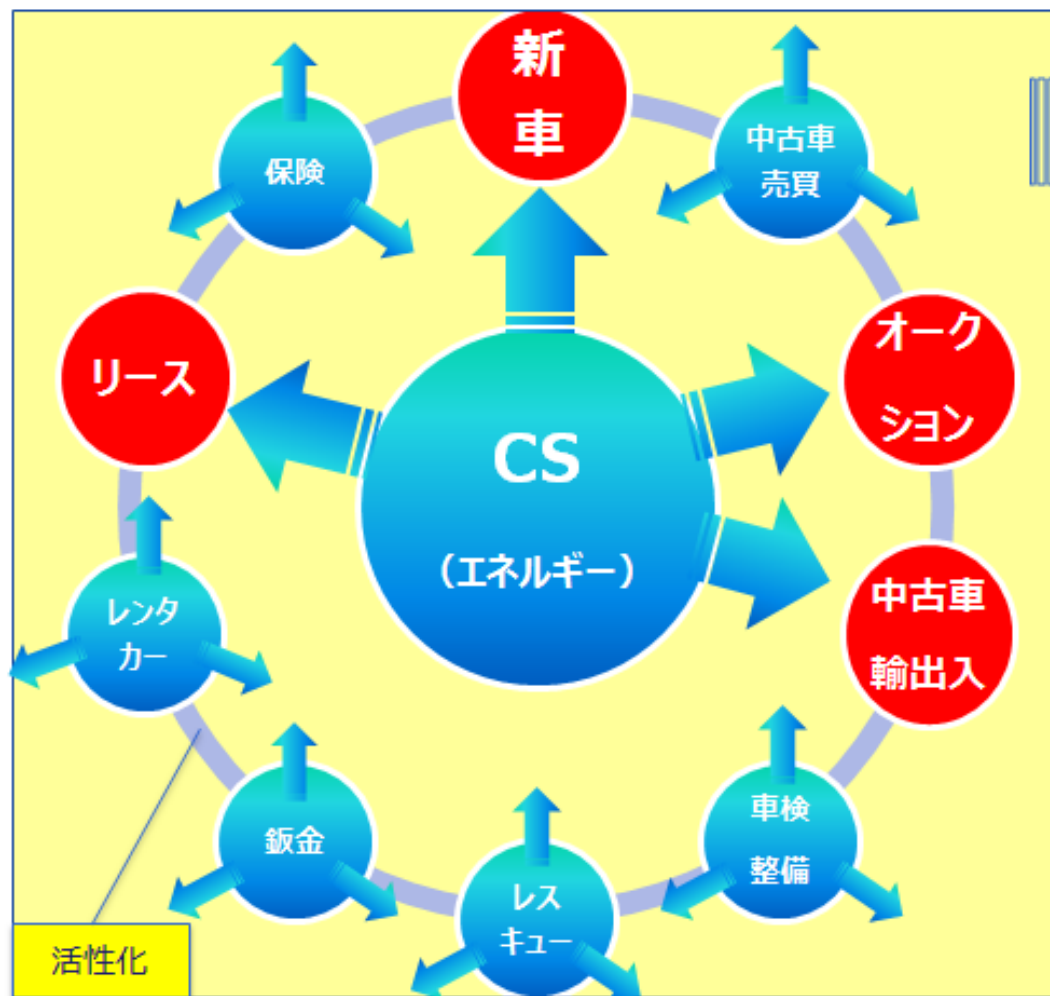
変革

事業へ

CSからの収益に頼らないビジネス構築

- ・新車ディーラー
- ・オークション会場運営
- ・中古車販売の強化
- バリューチェーン強化

2013年度 将来への取組み (カーライフ事業本部)



機能発揮
事業会社・パートナーとの
連携強化

バリューチェーンの強化

バリューチェーン全体の
付加価値向上

収益の最大化

トータルホームライフ事業本部

2013年度 上期トピックス報告 (トータルホームライフ事業本部)

トータルホームライフ メガソーラー販売

“再生可能エネルギーの普及拡大”を目指し、大規模太陽光発電所 (メガソーラー) を販売 (上期実績: 3カ所、6MW)



松永牧場 北牛舎 (上)
丘牛舎 (下)

メイプル牧場 (上)
萩 牧場 (下)



福岡県久留米市 筑協商事(株)様
発電能力: 1MW 2013/4月～



島根県益田市、山口県萩市 (株)ソーラーファーム様
発電能力: 4MW 2014/4月～予定

2013年度 上期トピックス報告（トータルホームライフ事業本部）

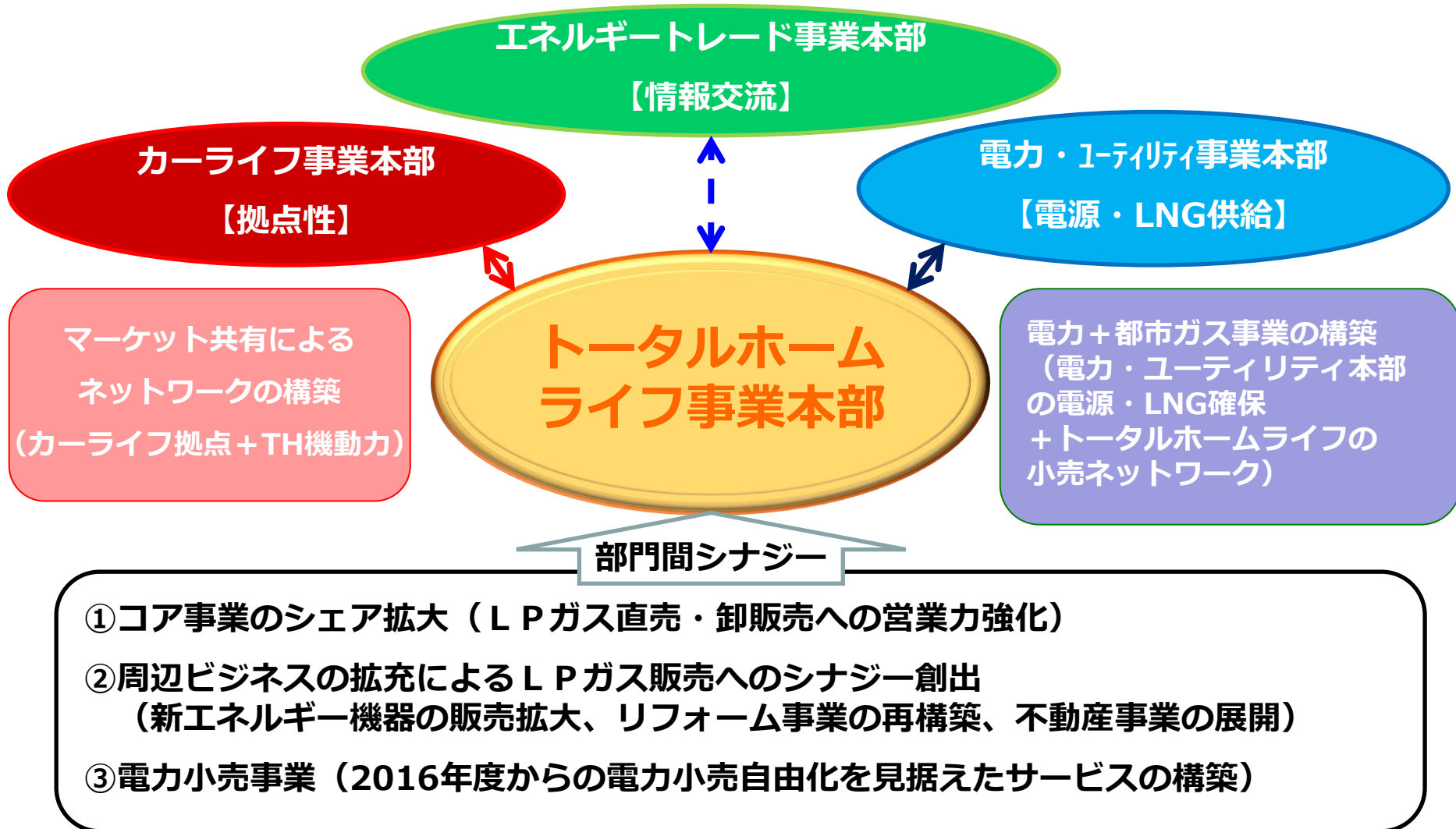
Smart Lifeキャンペーン開催

過去10年にわたり実施してきた「やっぱりガスだね！」キャンペーンを「Smart Life」キャンペーンと改め、“お客様にもっと快適な暮らし”を提案する活動として全国で開催。

本キャンペーンを通じて従来より取り組んでいる省エネ・高機能燃焼機器の普及促進に加え、エネルギーのベストミックス提案型企业として、スマートハウスの更に上をいく「楽エネハウス」を提案していきます。

キャンペーン期間 (6-12月の7ヶ月)	販売目標	6月-10月 実績 (5ヶ月)	前年同期 実績 (5ヶ月)	前年 同期比
太陽光発電 (セット)	1,850	1,276	655	195%
燃料電池・エコウィル (台)	400	90	38	237%
ガラストップコンロ (台)	15,700	10,890	8,934	122%
エコジョーズ (台)	9,600	7,432	5,010	148%
ガス暖房機器 (台)	7,000	2,641	1,919	138%

2013年度 将来への取組み (トータルホームライフ事業本部)



電力・ユーティリティ事業本部

2013年度 上期トピックス報告（電力・ユーティリティ事業本部）

石炭火力発電設備の増強計画（山口県防府市）

【石炭火力設備増強計画の概要】

- 設置場所 : 山口県防府市（防府エネルギーサービス(株)内）
- 発電端出力 : 36Mw
- 発電方式 : 微粉炭石炭ボイラー・蒸気タービン発電
- 完工予定日 : 2015年3月末

資金調達手法として、プロジェクトファイナンスを活用。

競争力ある自社電源の保有

製販一体の電力事業の強化を目指す。

（「電力の全面自由化」を想定し、準備中。）



防府エネルギーサービス(株)

防府エネルギーサービス(株)

【既存設備概要】

既存発電能力: 44MW

増設後発電能力: 80MW



※●は 当社自社グループの発電所

2013年度 上期トピックス報告（電力・ユーティリティ事業本部）

再生可能エネルギーの取組み

大分県玖珠町にて太陽光発電事業を10月より開始。

【太陽光発電事業の概要】

設置場所：大分県玖珠郡玖珠町

運営者：JEN玖珠ウインドファーム(株)

発電規模：1Mw

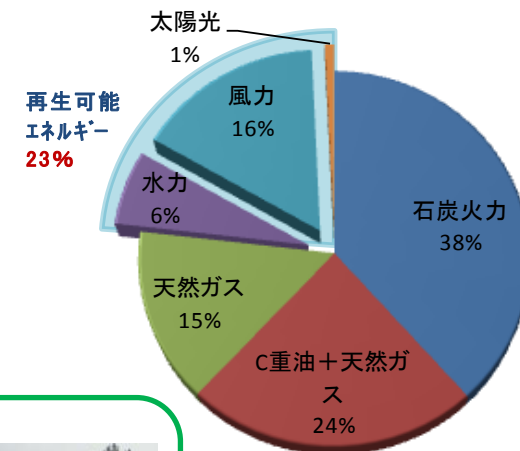
販売先：九州電力(株)

稼働開始：2013年10月より

年間予想発電量：106万kwh/年

（一般家庭の300世帯分相当）

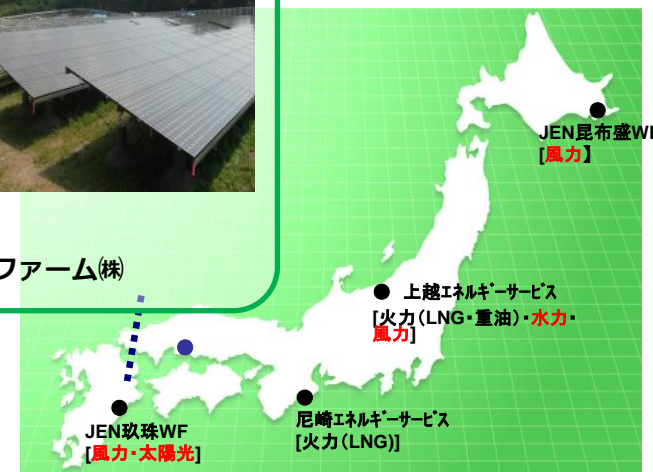
JENホールディングスの発電構成



大分県（玖珠郡）



JEN玖珠ウインドファーム(株)



※●は 当社自社グループの発電所

2013年度 上期トピックス報告（電力・ユーティリティ事業本部）

アイピー・パワーシステムズ(株) (IPPS) の株式を(株)ジュピターテレコム (J:COM)に譲渡すると共に、IPPS・J:COM・エネクス3社で**業務提携**



「電力一括購入サービス」を通して、それぞれの**強み（機能）**を活かした業務提携を締結。

電力以外の分野に関しても、協業を検討中。



※写真はIPPSの開発したスマートメーター。

2013年度 将来への取組み（電力・ユーティリティ事業本部）

電力事業は製販一体での事業拡大を目指していきます。

特に、電力の販売においては、競争力のある自社電源を保有することでPPS業界において、早期に上位入りを目指します。

熱供給事業は熱供給事業の拡大と共に、蓄積された省エネ技術を活かしたエネルギーサービス事業を強化します。

LNG販売事業に関しては、既存供給拠点周辺の開拓及び新規エリア開拓を促進します。

海外プロジェクト開発部 他

2013年度 上期トピックス報告（海外プロジェクト開発部）

バイオディーゼル製造事業への参画

次世代バイオディーゼル製造事業のプラント視察（米国ネブラスカ州）



（左上側）プラント外観2014年末の稼働を
目指し、現在エンジニアリング中

（右上側）原材料及び製品貯蔵のためのタンク群



タンク群脇、出荷のための鉄道
引き込み線



ランチを兼ねての
事前ブリーフィング

2013年度 上期トピックス報告（その他）

社会貢献、東北復興支援活動

子供たちへ「食育」を通じて、おはしの使い方を練習



絆ネットセンター
深谷
(埼玉県深谷市
2013年3月開設)



震災復興支援ボランティア活動

『ウォーク・ザ・ワールド for アフリカ』



ご清聴ありがとうございました

(1)ご注意

●資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

●また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

(2)問い合わせ先

伊藤忠エネクス株式会社 調査広報部 IR広報課

【TEL】03-6327-8003 【FAX】03-5418-2202

【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com